



京都信用金庫の

ネットショップ
開設サポート



OPEN



良いモノ

みんなに届けたい

ネットショップをはじめませんか？

コロナ禍において事業者の皆様のビジネス環境は大きく変化しています。そんな中注目されているのが、ネットショップやオンライン接客などの「**非対面の販売経路の構築**」です。京都信用金庫は**ネットショップの開設や運営**についての**ノウハウ**をご提供し、地域の事業者の皆様の**販売チャネル拡大**をお手伝いしています。

今回は、当金庫のサポートによりネットショップを開設された「京都ぼーく」の精肉・加工食品を販売する有限会社農業法人京都特産ぼーく様のストーリーをお届けします。



ネットショップ開設サポートの取組

STORY

01 非対面販売の提案

京都特産ぼーくの水森社長は、コロナ禍における売上減少に大きな課題を感じていた。これに対し水森社長が考えた戦略は、加工場に併設している直売所での商品販売を強化すること。しかし十条支店営業担当者の小西は、コロナ禍の出口が見通せない中では**非対面販売経路の確立**も必要だと感じていた。そこで彼は、ネットショップを活用した**オンライン販売を提案**。こうして京都特産ぼーくのネットショップ開設支援プロジェクトがスタートした。



STORY

02 立ち上げから運営まで

何から始めてよいか不安だった水森社長に対して小西は、ネットショップの開設だけでなく、「京都唯一の銘柄豚を使用」といった**商品力をアピールしていくことが不可欠だとアドバイス**した。

その上で、本部でデジタルサポートを担当する山岡と連携。山岡からは、ネットショップ開設サービス「**STORES**」の紹介や、**LINEチャットボット**の活用、魅力を最大限に引き出す**商品ラインナップ**等についてのアドバイスをを行った。また、STORESとの共催セミナーを通じて**Instagram**を活用した集客ノウハウも提供し、ネットショップの立ち上げからブランディングまでの**トータルサポート**を行った。

トータルサポート



STORY

03 ネットショップオープン

実はこの時、事業承継の直後だった水森社長。「何かを変えなければ」という強い意識のもとに、**ネットショップを事業の柱として成長させていくことを決意**した。「京信さんからのアドバイスや、セミナーで学んだ内容を実行するために」と、ネットショップのデザインや写真撮影、SNS運用を任せられるデザイナーも雇用され、京都特産ぼーくのネットショップはオープンの日を迎えた。

▼完成したショップはこちら！



動画の配置やSNSへのリンク、新着情報など、STORESの機能と京都特産ぼーくの魅力がふんだんに盛り込まれたサイトが完成！

<https://kyotopork.stores.jp/>



“ネットショップ”とは？

「ECサイト」とも呼ばれ、多種多様なネットショップが一つのショッピングモールに集まった「**モール型**」と、個人商店のように独立したネットショップである「**自社型**」に大別される。それぞれ長所と短所があり、**STORESのような「自社型」ネットショップは自社ブランドのファンづくりに適している**。



- ✓ 集客力がある
- ✓ 信頼感がある
- ✓ 共通ポイントが使える
- ✓ 利益率が高い
- ✓ ブランディングができる
- ✓ リピーターの確保

STORES とは？

初めての人でも、無料で簡単にネットショップが作れるサービス。プログラミングなどの知識は一切不要。



▲ STORES詳細



有限会社 農業法人
京都特産ぼーく
代表取締役 水森 猛 様

京信さんは頼れる経営アドバイザー

小西さんは社内の会議に参加してもらったこともあり、何でも相談できる経営アドバイザーのような存在です。そんな普段から当社のことを理解してくれている小西さんと、デジタルサポートに長けた山岡さんのおかげで、何年もの悩みがここ数ヶ月で一気に解決しました。これからも色々と相談させてもらい、まずはネットショップを軌道に乗せていきたいと思っています。



京都信用金庫
十条支店 小西 健太

何よりも社長の想いを大切に

日々の活動の中では幅広い情報提供を行い、その中からお客様自身に必要なものを選択していただけるよう心掛けています。以前より水森社長の事業に対する想いを大切にしたいと考え活動していたので、今回こうしてお役に立てたことを嬉しく思います。本プロジェクトはまだまだスタート地点に過ぎません。サイトオープンに続き、次は売上目標達成を目指し伴走していきたいと思っています。



京都信用金庫
企業成長推進部 山岡 亮太郎

社長の熱意に全力で応える

デジタルツールの導入において大切なのが、経営者の熱意と運用人材の確保です。その点水森社長の熱意はすさまじく、次々と「こんな事やりたい！」を投げけていただき、こちらも全力で応えたいと思いました。SNSのグループを作って今でもサポートを続けています。



ヘイ株式会社
STORES担当者
上野 敦稀 様

同じ想いをを持ったパートナー

「中小事業者様のデジタル化をまるっとサポートしていく」という弊社の想いと、京信さんの「事業者の皆様におせっかいを焼く」スタイルに重なるものを感じ、2020年から連携しています。今後は予約システムやキャッシュレス決済サービスなどの連携も行っていく予定です。

当金庫とSTORESはハンズオンセミナーの共催等を通じて連携。2021年2月から3月にかけては「ネットショップ集客」をテーマに4回シリーズのセミナーを開催、延べ220人以上が参加。



デジタル化など、事業のお悩みは京都信用金庫へご相談ください。



誰もが幸せに暮らせる地域を目指して



— 事実婚や同性パートナーの方も共同名義で住宅ローンをお借入れいただけるようになりました —

多様な価値観が共存する中で一人ひとりが個性を十分に発揮し、誰もが夢や目標を実現できる社会を創造することが求められている今、当金庫でも事実婚や同性パートナーのお客様から「**共同名義で住宅ローンを借りたい**」というお声をいただいています。そこで2021年4月5日より、**法律婚以外のパートナーの方も「配偶者」として共同名義で住宅ローンをお借入れいただける**ようになりました。

お借入れ時には以下の証明書等が必要となります

- ✓ **事実婚の場合…「未届の妻 / 夫」または「妻 / 夫(未届)」と記載された住民票**
- ✓ **同性パートナーの場合…自治体が発行する「同性パートナーシップ証明書」または、これに類する証明書**

※同性パートナーシップ証明制度が導入されていない自治体から転入される場合は、転入後に上記書類を取得し、ご提出ください。

詳しくはお近くの窓口または
営業担当者にご相談ください。



65歳以上の職員が
活躍する場

「まちのべんり屋」のご紹介

好きなことで
人のお役に立てる充実感！



当金庫では、“定年後の雇用創出”と“活躍の場の提供”を目指し、2021年4月に社内ベンチャー事業として**65歳以上の職員が活躍する新たな部署『まちのべんり屋』**を創設しました。同部署では、シニア職員が趣味などで培ってきた技術やノウハウを活かし、**金庫内の店舗修繕・美化対応を中心に活動**しています。職員が働きやすい職場環境を整備し、また、地域のお客様にも気持ちよくご利用いただける店舗づくりに努めていきます。



Interview

まちのべんり屋 代表 西野 浩次

創設のきっかけは？

退職後の面談で今後の人生について話をした時、「趣味の木工を活かした活動ができれば嬉しい」「店舗修繕などのお手伝いであればできる」と伝え、その経験をぜひ役立ててほしいとのお願いがあり、創設が実現しました。

趣味の木工とは？

学生時代から図工や模型作りが好きで、40代の頃、知人の家具を製作したことがきっかけで本格的に木工を始めました。これまでに家具・小物類の自作や、当時の同僚たちと共にツリーハウス作りにも挑戦しました。



地域の同世代の皆様へのエール

自分の好きなことをして相手が喜んでくれるのが充実感となり、義務感なく自発的に行動できる環境にやりがいを感じています。皆様も好きなことから培ってきた技術や経験を活かし、楽しく充実感のあるシニアライフを目指しましょう！



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)